# ◇前期の締めくくりに向けて◇

# 学校報 第7号 H28/08/25

# |中魂」を支えとして

生きてきた卒業生の人生とは

い親子でした。ねて来てくれました。

とても丁寧な物言いで、 次のようにお母さんが切り出されたの

年ぶりの母校・二中を訪ねて

**干葉県で教** 員をしていたも

中を押されたかのように次々と思い出す。お名前や千葉県で先生をしていたりの先生との思い出など、懐かしさに背が産まれた年です。)当時の三年生でり、当時の三年生ではあれる方のようでお話をうかがうと、お話をうかがうと、お話をうかがうと、お話をうかがうと、お話をうかがうと、お話をうかがうと、お話をうかがうと、お話をうかがうと、お話をうかがうと、お話をうかがうと、お話をうかがうと、お話をうかがうと、お話をうかがうと、お話をうかがうと、お話をうかがうと、お話をうかがらように次々と思い出など、というというでは、またがのように次々と思い出する。

を語り始めました。

# 友愛 の像」の名付け 親

にある ことも分かりました。 さらに 友愛の像」の名付ける話をうかがうと、 け親だった、校門近く

い。」との思いもおありのようでした。 せが保存されていたら、是非見てみたないたら、是非見てみたない。 年生だったご自身が応募し 友愛の像」です。元々名前のなかった像に中学のです。元々名前のなかった像に中学の の先生をしていた方が制作したもの友愛の像」は、当時秋田大学で美

能代市立 能代第二中学校 TEL52-5138

がら見つけることは出来ませんでし二緒になって捜しましたたが、残念なにご案内しました。当時の新聞記事をお二人を二階にある わが二中室」 母さんが言ってた思い出の校舎

尋ねていました。 に指さ しながらとパネ ルを順番 さんは、 その度にお母 ぞう、

そう。」とうなずいていらっしゃいま ※写真は資料画像です。)

# 不 思 議 な 会 話

ありません。おそらくは、息子さんにを精二杯過ごした二中を忘れるはずは生活してこられた五十年間。青春時代はがい、結婚して子供さんを設けている郷秋田・能代を離れ、千葉県で教権し量ることが出来ました。

ことができるほどに・・・。す。息子さんが頭の中で形を思い描くとなく聞かせていたのだろうと思いま自分が過ごした二中での思い出を何度

# 50 年 を支えたこ 一中魂

うつぶやかれました。 で足を止めて感慨深げにその方は、校訓について書かれたコーナーの の こ前

れました。当時の先生方がしっかりとこれがあったから何とかやってこ この気持を教えてくださいました。 があ

上げた後、丁寧なお礼の言葉を言われる夏の白神山地の美しさに感嘆の声を玄関まで見送る際、図書室から見え て帰って行きました。



も・・・。

この二中を築いてきてくれたことに改めて気付かされます。また、二中魂に支にまられた、それぞれの人生を一生懸命に生きてこられた先輩方がいたことに改め、二中魂を持った多くの先輩方が、こ

めた高き志を持って、行事成功のためしみのために行うのではない。地域の後半を迎えるにあたって、 自分の楽出中祭、二中若を間近に控えた前期 |丸となって頑張りましょう。